



江戸、東京、Tokyoへ… ひとが集い、暮らすまち 淡路町駅

東京メトロ
丸ノ内線

江戸時代、武家屋敷と町人街の境にあり、やっちゃ場など多くの人々が行き交った神田淡路町界隈。明治には学問の地・駿河台を背に、万世橋駅周辺は歓楽街として賑わい、そして今オフィスやマンションの開発が進む…。ここはいつの世も、ひとの都なのです。

① 神田連雀亭

明日の「真打ち」を、いま見よう!

戦災を免れた古い町家も多く残る旧・神田連雀亭に、二ツ目の落語家だけが出演する寄席として2014年に設立。現在は講師、浪曲師も出演しています。特徴は落語協会や落語芸術協会、そして一般の寄席や演芸場に出ない落語立川流や五代目團楽一門会まで垣根なしに顔が揃うこと。高座と客席が近い小体な作りで、表情や細かな仕草まで楽しめます。料金設定も格安。ちょっと時間が空いた日に、ふらっと立ち寄るのも粋な一日の過ごし方かもしれません。

●ワンコイン寄席 500円 開場11:30/開演11:30~12:30頃
●日替わり昼席 1,000円 開場13:00/開演13:30~15:00頃
※月数回、昼席に「講談きやばり」を開催。

〒千代田区神田須田町1-17 加藤ビル2F 12月31日(土) 休席、ほか無休



淡路公園

複合施設ワテラス前に設けられた公園。一体的に整備されたワテラスの外構植栽は、江戸情緒ある花々や実なりする木々で季節の変化を楽しむことができます。

写真提供: 千代田区広報広聴課



奇跡の三角地帯を歩くと、戦災を免れた古い町家やお店がいっぱい!

らくSPA1010 神田

お風呂やサウナに、コワーキングスペースやダイニング&パブ、さらにボディケアやリラクゼーションメニューまで揃ったハイパー銭湯。都会のオアシスをコンセプトに、細部にこだわった空間で、質の高い時間が翌朝まで楽しめます。

〒千代田区神田淡路町2-9-9
☎03-5207-2683
11:00~翌8:00
(最終受付 翌7:00) 無休

●銭湯コース 大人500円、中人200円、小人100円
●サウナコース(3時間) 990円
●RAKU SPAコース(10時間) 平日1,790円、土日祝1,990円
※深夜割増+1,500円(翌1:00~翌5:00)



誌面で紹介したお店やスポットに
ターリーターキーの2人がおじゃまします!



あらぶんちよ散歩 [淡路町駅] 1月2日(月)~8日(日)

- 地デジ10ch 15:00~
- 地デジ102ch 23:00~
- 地デジ11ch 11:00~、14:00~、17:00~

●YouTube
「あらぶんちよチャンネル」でも公開中!



あらぶんちよ散歩

誌面バックナンバーはこちら▶



※価格はすべて税込です。
※データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。

神田青果市場発祥の地

明暦の大火(1657年)以降、江戸中の青物市が徐々に集まり、江戸・明治・大正までこの一帯に約1万5千坪という、町も含む巨大な青果市場がありました。表通りには八百屋が軒を連ね、威勢のいい競りのかけ声が飛び交う…。青果市場の別名「やっちゃ場」は、そこから生まれた言葉だといわれています。



ランチ ハラミ定食200g 1,760円。肉は霜降りと赤身の絶妙のバランス。牛骨、牛すじ、鶏ガラ、鷹からとった出汁との融合でやさしい味わい。こだわり抜いた6種の塩をつけても美味です。

② だし家焼肉 糸びす本麩 (ほんてん)

〒千代田区神田町2-6-6
☎03-3254-3438
11:30~14:00 (L.O.13:45)
17:30~22:30 (L.O.22:00) 土・日・祝
<https://ebisu-honten.com/>
※年末は29日(木)まで、年始は10日(火)から



焼肉と出汁の出合いから 広がる新たな美味の世界

昭和4年、神田で精肉卸業として創業。高級ブランド「常陸牛」など厳選の肉を、一流ホテルで和食の修業を重ねた三代目の範人さんが天啓!を受け開発した秘伝の出汁と共に食す革命的焼肉です。肉を頬張り出汁を一口、広がる肉汁と出汁のマリアージュ…。たまりません!!

◀社長 堀川 博司 さん(兄)
専務・調理担当 範人 さん(弟)



(左)キフト用ブーケ2,200円〜。予算に応じ季節の花で作ってくれます(写真は8,000円、花器は別)。(中央)ハオルチアオブツーツーサ5,500円。(右)ベベロミアペッパーミル3,300円。

④ Hana-koyomi 8890

〒千代田区神田淡路町2-105 ワテラスタワー
コモン1F ☎03-3525-4120
月・土 11:00~17:00
火~金 11:00~18:00 日・祝
https://www.waterras.com/common/8890_hanakoyomi.html
※年末は30日(金) 15:00まで、年始はHP参照



まさに「多種多彩」な 花と緑があふれる花屋さん

お洒落でシックな花が揃うアトリエ系の花屋さん。お客様の趣味やイメージを伺い、仕入れてくれます。さらにインテリアグリーンも他では見られないほど多種多彩。海外まで見学に行くほど植物愛にあふれた店長の想いがこもったお店に、植物好きが集まります。

◀店長 後 運也 さん



ランチ 海南鶏飯(ハイナンジーファン)並950円、仙草ゼリー +250円。他にラクサなど。夜は一品料理に麵やカレー、タイガー生ビール、カクテル、自然派ワインとメニュー充実です。

③ 松記鶏飯 (ソッキージーファン) SONG KEE JEE FAN

〒千代田区神田町2-15-1
☎03-5577-6883
11:30~14:00 (L.O.13:30)
18:00~23:00 (L.O.22:00) 日・祝
※年末は27日(火)まで、年始は6日(金)から



多国籍の味が融合する シンガポール料理に喝采!

若い時、世界を旅したオーナーがその味に魅入られ何度も現地に通い覚えた料理は在住のシンガポール人が通うほど。肉や野菜も体に優しい素材を厳選し調味料や出汁も手間暇かけて一から手作り。多彩なメニューにお酒も充実。10年目を迎えた町の人気店です。

◀代表取締役 松本 裕介 さん



(お盆の上、左上から時計回り)栗入り軍配どら焼き270円、神田まつり220円、二十二代庄之助最中200円、御上生菓子・山茶花330円、ゴマ大福150円。(右)宮内庁御用達の極上赤飯 萬祝(まいわい)490円。

⑤ 和菓子司 萬祝処 庄之助 神田須田町店

〒千代田区神田須田町1-8-5
☎03-3251-5073
9:30~17:30 土・日・祝
<https://www.syounosuke.jp/>
※年末は30日(金) 16:00まで、年始は5日(木)から



由来と歴史に誇りを持ち 受け継がれるこだわりの味

立行司 二十二代木村庄之助の長男が昭和24年に創業。軍配を模した庄之助最中を始め多彩な和菓子が揃います。極上の大納言小豆を三代目が丹精込め手練りする餡は絶妙な味わい。材料にこだわり全て手作りする真心の味を求め、お客様が引きも切らず訪れます。

◀増田 雅子 さん、泉 ゆみか さん、藤木 静香 さん

注目の人 神田連雀亭 オーナー 加藤 伸 さん



ふるさと須田町の賑わいを再び

生まれて育ったのも、ここ須田町。子供の頃はガキ大将で、よく親父に叩かれてなあ。その頃はこの一角だけで30人から子供がいて、賑やかだった。いくつもあった店には住み込みで働く若い人が、いっぱいいたものです。いわゆる金の卵だね。そんなふうには、町には活気があった。私の方は大学入学の時に家を出て、仕事してからずっと外で暮らしていたけど、親父が亡くなり家の仕事を手伝えることになって戻ってきたら、すっかり寂しくなってね。子供の頃の賑やかな思い出が強かったから何とかしなきゃと思ったわけです。もっと町を知って貰いたい、有名な老

舗はあるけど、来るのはそご目当ての人。他の人たちにも来て欲しい。で、旧知の古今亭志ん輔さんに「町おこし」がしたいと相談したら、彼の方も二ツ目を育てたいけど修業する場がないと。じゃあうちのビルの2階を寄席にしよう、となったわけです。高座を造り、楽屋や木戸、看板やのぼりを整えるのは自腹をきった。でも、運営は芸人さん達に一切任せ、木戸銭も皆で分けて貰ってます。2014年に始め、3年目からは松之丞時代の神田伯山さん達に任せて、お陰様でお客様も増えました。今はコロナ禍で減ってまた賑やかになる、そう信じて続けて行こうと思ってます。

落語・講談そして浪曲の若手席 神田連雀亭の 日々の番組を紹介!

毎月のワンコイン寄席、日替わり昼席 & 講談きやばりの番組表を紹介。さらに毎日更新するTwitterもチェック!

- 神田連雀亭出演情報 <https://ameblo.jp/renjaku-tei/>
- 連雀亭公式Twitter @renjakuban10



あらぶんちよ散歩!